

2020年

プレゼミナールのご案内

2020年9月26日(土)

8月19日(水) エントリー開始

プログラム

	文系 総合型選抜：受験者	理系 総合型選抜：非受験者
9:00	受付	
10:00	セミナー：午前の部	
11:30	図書館見学 (希望者のみ)	昼食
12:45	セミナー：午後の部	
14:15		
14:30	レポート作成	理学部生物学科 研究ポスター発表、自主研究課題相談会 (希望者のみ)
15:30	図書館見学 (希望者のみ)	
16:30		

※今年度より、理系学科志望の総合型選抜受験者は、プレゼミナールの受講は必須ではありません。理系学科の第1次選考は、書面審査にて行われます。

※各セミナーの午前の部は10:00~11:30、午後の部は12:45~14:15(各90分)を予定しています。

その他、セミナーによって授業時間配分が多少異なる場合があります。

※文系学科志望の総合型選抜受験者は、各セミナー終了後、レポートを作成します(60分)。

※新型コロナウイルスの感染状況によっては、プログラムの内容が変更になる可能性があります。

セミナー1 「大都市の暮らしを考える—これまでとこれから—」 (宮澤仁:都市地理学) 定員30名

私たちはいま、都市の大きな転換点に立っているのかもしれませんが。新型コロナウイルス感染症の拡大は都市の本質をあぶりだすとともに、それを否定するかのような私たちの対応や言説を生み出しています。このセミナーでは、これからの都市と私たちの暮らしとの関係について一緒に考えます。そのための題材として、都市地理学が大切にしてきた都市をとらえるための空間的な視点と、それを通じて得られた大都市の生活（住まい、仕事、子育て）に関する知見を講義します。事例として主に取り上げるのは、本学が位置する東京大都市圏の研究です。

セミナー2 「小野小町が背負わされたもの」 (浅田徹:日本古典文学) 定員30名

小野小町は絶世の美女として名高い人です。ブランド米「あきたこまち」や、秋田新幹線「こまち」に彼女の名が利用されているのは、そのイメージが現在も生きていることをよく語っているでしょう。しかし平安時代以来、小町につきまってきたのは驚くほどダークな伝説なのです。そこには、女性に対する社会的な圧力の存在が透けて見えるように思います。和歌に関する古い文献や、小町を主人公とする能などを素材に、その流れを辿ってみることにします。

セミナー3 「第二言語習得を始めるのに最適な年齢は？」 (西川朋美:応用言語学) 定員30名

第二言語習得と習得開始年齢の関係について検証した研究の多くが、「習得開始年齢が低いほうが有利」という結果を報告しています。しかし、移住先の国で生活をしながら毎日大量のインプットを受けて新しい言語を学ぶケースと、自国内で外国語授業を週に数時間だけ受けるケースの違いについては、慎重に考える必要があります。本セミナーでは、第二言語習得と習得開始年齢に関する具体的な研究例を複数紹介した上で、第二言語習得は何歳から始めるのがよいのかを考えます。

セミナー4 「学校教育の社会機能と新型コロナウイルス問題」 (大多和直樹:教育社会学) 定員30名

学校教育は、様々な社会的機能を有する多面体です。新型コロナウイルス問題は、この多面的な機能の複雑さを浮き彫りにしました。すなわち、子どもの保護という側面からすれば、学校の休業は子どもの感染を防ぐ効果がある一方で、学習保障、入試対策、そして家庭での児童虐待という観点からすれば、早く学校を再開せよということになるのです。ゼミでは、コロナ対応を題材にしつつ学校の多面的機能を捉え直すとともに、これからの学校教育を考えていきます。

セミナー5 「高齢化社会と医療・介護制度」 (大森正博:消費者経済学、医療経済学) 定員30名

日本では、少子高齢化、技術の進歩等、社会の変化が進んでおり、人々の生活にかかわる様々な社会制度のあり方が対応を迫られています。医療・介護制度も例外ではありません。本講義では、日本の医療・介護制度は、社会を取り巻く環境の変化の中で、どの様な制度改革が行われるべきなのか、諸外国の制度改革の事例についても取り上げながら、経済学の視点も入れながら考えていきたいと思います。

セミナー6 「非行・犯罪を心理学から眺める」 (高橋哲:犯罪心理学) 定員30名

社会の耳目を集めるような重大事件が起こる度に、テレビやインターネットでは、事件の動機や背景、はたまた刑罰の在り方についていろいろな意見が交わされることがあります。それらは、本当に、実態を反映した、科学的に正しいものなのでしょうか。このセミナーでは、非行や犯罪の背景にある様々な要因や、非行少年や犯罪者の更生のために何が必要なのかといった点について、心理学の視点から講義します。心理学の持つ「科学」と「技術」の二つの側面について一緒に考えていきたいと思います。

附属図書館見学 11:30~12:45、15:30~16:30

希望者のみ

文系学科志望の総合型選抜受験者限定で、附属図書館を見学できます。この企画への参加は任意です。

セミナーA 「数学と物理・科学」 (森川雅博:宇宙物理学)

定員なし

高校の生物は大学では化学になり、化学は物理に、物理は数学に。。。という話があります。結局、自然科学はすべて数学が基本にあります。

ということで、数学と物理(自然科学)の関係をみんなで考えて楽しく議論していきませんか?

議論には題材が必要です。皆で1つずつ持ち寄りましょう。何でもいいです、自分で考えたところまでいいし。

例えばですが、ベクトルと誰とかの左手の法則、等比数列はじめ種々の数列が実現する物理ってあるのか、複素数って現実の物をあらわすのか、目に見えるのか、2次式3次式4次式。。。とやってみるとどんな形も表せるのか、三角関数って物理でどのように出てくるのか、無限小って物理で実在なのか、物理ではどんな関数が出てくるのか、ウイルス感染の推移を表す物理ってあるのか、極座標って物理で有用か、導関数って物理でなんの役に立つのか、音楽と数学って関係があるのか、生物と数学は?、物理の公式が多すぎるので一つにまとめたい、冒頭の話でーじゃ数学はなにになる?。。。など一人1つ考えてきてみんなにしっかり話してね。



セミナーB 「マウス脳画像から情報の流れを見える化し、規則性を発見しよう」 (毛内弘:神経生理学、生物物理学)

定員20名

私たちは、生きたままのマウスの脳活動を顕微鏡を使って見る方法を開発しています。今まで脳の活動を見るためには頭蓋骨に穴をあける必要がありました。私たちが開発した方法を使うと、頭蓋骨の上から大脳皮質の活動を見ることができます。本プログラムでは、生きたマウスの頭蓋骨越しに撮影した画像を解析することで、脳の情報の流れを見える化します。脳の地図と照らし合わせることで、情報の流れに規則性を発見しましょう。



セミナーC 「最適化に挑戦！」 (工藤和恵:統計物理学)

定員20名

最近世界中で、従来のコンピュータとは全く異なる新しいタイプのコンピュータが研究開発されています。講義では、その中でも組み合わせ最適化問題を高速に解けるタイプに焦点をしばって解説します。実習では、新しいタイプのコンピュータのしくみを利用して、最適化問題に挑戦します。今回は普通のコンピュータを使いますが、新しいタイプのコンピュータで問題が解けるしくみを実感してもらえはります。みなさんも、新しい時代のコンピューティングを体験してみませんか?



映像上映による図書館情報検索レクチャー 14:30~16:30

希望者のみ

新フロンティア入試の文系第二次選考では「図書館入試」を行います。図書館入試とは、課題を提示し、本学の図書館所蔵資料を自由に使って関連する情報を集め、それらを組み立て、オリジナルな答えを導き出すという試験です。情報検索力や自分の考えを論理的にまとめる力は、今後の人生のあらゆる場面で絶対に必要となるスキルです。この企画では図書館入試の導入時に行う図書館スタッフによる情報検索レクチャーの映像を視聴いただけます。なお、総合型選抜受験者は受講できません。

理学部生物学科 大学院生による研究ポスター発表/自主研究課題相談会

14:30~16:30

希望者のみ

研究ポスター発表では、生物学科の大学院生が最新の研究成果をポスターで発表します。研究のまとめ方の参考になると思います。また、研究の進め方などについて大学院生と自由に話すことができます。相談会では、自主研究の課題の選定や研究の進め方などについて大学教員が相談にのります。生物学科の受験を考えている人のみを対象とします。応募時に相談内容の概要をお知らせください。

プレゼминаールのエントリー方法について

お茶の水女子大学プレゼминаールは、幅広い学問分野から多彩なプログラムを用意しています。また、お茶大の特徴である少人数教育の醍醐味を体感してもらうため、事前エントリー制を取ります。なお応募者多数の場合は、総合型選抜受験者が優先となりますことをあらかじめご了解ください。エントリー期間は、8月19日(水)から9月16日(水)17時までです(必着)。専用の申込フォームによりお申し込みください。

セミナー内容をよく読んだ上で、受講を希望するセミナーを第1～第3希望まで選んで申し込んでください。なお応募者多数の場合には抽選になり、第2・第3希望のセミナーを受講する可能性があることをあらかじめご承知おきください。

※文系学科志望の総合型選抜受験者は、プレゼминаールへのエントリーと総合型選抜出願書類の提出(出願期間9月15日(火)・9月16日(水))の両方を期限内に必ず行ってください。プレゼминаールには、なるべく出願に先行してエントリーしてください。(エントリー完了時に通知される申込者番号を控えておき、総合型選抜出願時に申込者番号と希望セミナーを入力ください。)

※文系学科志望の総合型選抜受験者は必ずいずれかのセミナーを受講できますが、非受験者は抽選の結果いずれのセミナーも受講できない可能性もあります。あらかじめご了承ください。

※非受験者は、「図書館情報検索レクチャー」または「理学部生物学科 大学院生による研究ポスター発表/自主研究課題相談会」のみの参加も可能です。

<申込フォーム>

下記のURL(またはQRコード)の「2020 プレゼминаール・申込フォーム」から必要事項を入力し、申込みをお願いします。なお、この申込フォームで申し込めない場合には、下記アドミッション・オフィスまでお問い合わせください。

<https://www.ocans.jp/ocha?fid=nnSF2R2K>

※エントリーを受け付けたのち、アドミッション・オフィスから確認のメールを送ります。エントリー期間終了後に調整のうえ、セミナー受講決定についてメールでお知らせします。なお、ocha@ocans.jp および admissions@cc.ocha.ac.jp よりメールをお送りしますので、必ず、ocha@ocans.jp および admissions@cc.ocha.ac.jp からのメールを受信できるように設定しておいてください。その後のご連絡も、主にメールで行います(総合型選抜受験者への入試に関する連絡はインターネット出願サイトからのダウンロードおよび郵送にて行います。)



<注意>

※エントリー後、何らかの事情で受講できなくなった場合には、速やかに下記アドミッション・オフィスまでご連絡ください。

※プレゼминаールへのエントリーのためにご記入いただいた個人情報は、本学の入学志願者・受験者に関する情報と同様、適切に処理いたします。同個人情報は本学が管理し、プレゼминаールの運営および付随する業務を行うために必要な範囲内で利用します。(学生募集要項の関連する記載も参照。)

お茶の水女子大学における個人情報の取扱いについては下記のとおりです。

<http://www.ocha.ac.jp/about/individual.html>

申込み期間	2020年8月19日(水)～9月16日(水)17時
参加資格	本学での学びを志望する女子 (高校2・3年、性自認が女性であるトランスジェンダーの生徒を含む)



問い合わせ先

お茶の水女子大学 アドミッション・オフィス

MAIL admissions@cc.ocha.ac.jp

TEL/03-5978-2700 FAX/03-5978-2566

※アドミッション・オフィスのスタッフが不在時もありますので、可能な限りメールでのお問い合わせをお願いします。